

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公表番号】特表2009-512497(P2009-512497A)

【公表日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2008-536574(P2008-536574)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 M 25/00 3 0 9 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月26日(2009.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

誘導通路を規定する誘導管であって、手術器具は該誘導通路を通って体内部位に配備され得る、誘導管と、

操縦アセンブリであって、該操縦アセンブリは、遠位端部位を曲げるための偏向させる力を加えるために該誘導管の該遠位端部位に結合された偏向エレメントと、アクチュエータと、該アクチュエータの動作に応答して該偏向させる力を加えるために該偏向エレメントに該アクチュエータを結合するリンクージシステムとを備え、該リンクージシステムは、ラックと該ラックに結合されたギアトレインとを含み、該リンクージシステムは、該偏向させる力を該偏向エレメントに加えるために、該アクチュエータの回転を該ラックの直線の動きに、そして該ギアトレインの回転に転換するように動作可能である、操縦アセンブリと

を備えている、誘導デバイス。

【請求項2】

前記誘導管に結合されたハンドルをさらに含み、前記リンクージシステムはハンドル内に担持される、請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】

請求項1に記載の誘導デバイスと、

1つ以上のファスナーを組織に適用する手術器具と

を備えている、システム。

【請求項4】

誘導通路を規定する誘導管であって、手術器具は該誘導通路を通って体内部位に配備され得る、誘導管と、

操縦アセンブリであって、該操縦アセンブリは、遠位端部位を曲げるための偏向させる力を加えるために該誘導管の該遠位端部位に結合された偏向エレメントと、アクチュエータと、該アクチュエータの動作に応答して該偏向させる力を加えるために該偏向エレメントに該アクチュエータを結合するリンクージシステムとを備え、該リンクージシステムは、スライダと該スライダに結合された旋回レバーアームとを含み、該リンクージシステム

は、該偏向させる力を該偏向エレメントに加えるために、該アクチュエータの回転を該スライダの直線の動きに、そして該レバーアームの旋回の動きに転換するように動作可能である、操縦アセンブリと  
を備えている、誘導デバイス。

【請求項5】

前記誘導管に結合されたハンドルをさらに含み、前記リンクエージシステムはハンドル内に担持される、請求項4に記載のデバイス。

【請求項6】

請求項4に記載の誘導デバイスと、  
1つ以上のファスナーを組織に適用する手術器具と  
を備えている、システム。